

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	市民館	No	1
-----	-----	----	---

大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)					
16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	3	スポーツ・レクリエーションの振興	1	スポーツ・レクリエーション施設の充実				
事業名 市民館管理運営事業(体育ホール)									
予算費目	款	10	教育費	項	5	社会教育費	目	4	市民館費
	細目	1	市民館運営業務	細々目	1	市民館管理運営費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)			自治事務 ()			予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
市民館体育ホールは、市民体育向上の場として昭和45年に完成した。また、大規模な催物の会場としても利用されている。開館後41年が経過しているため施設の維持管理費に多くの経費がかかる。	市民が安全・快適にスポーツに親しめる場を提供する。	条例・規則などに基づき公平・公正な貸出事務を行う。また、日頃からホール内外の点検を心がけることにより、なるべく経費をかけないように早めの施設整備を行う。	
活動指標		成果指標	
運営に必要な経費 ※目標値(前年度実績)		体育ホール利用者数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
3,534(千円)	5,452(千円)	20,274(人)	15,178(人)
			成果指標の到達度(A/B) 75 %

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	1,937	1,929,080	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	委託料	1,329	1,216,489		県支出金 ()		
	使用料及び賃借料	144	86,703		地方債 ()		
	工事請負費	3,500	2,219,574		その他 (26)	1,800	593,620
					一般財源 (74)	5,110	4,858,226
合計		6,910	5,451,846	合計		6,910	5,451,846
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		3	3,334,376				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
施設の老朽化に伴い随所に不良箇所が出てきており、多額の修繕料がかかる。	施設の維持管理については、なるべく経費をかけないように日頃から施設の保守点検を頻繁に行う。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		生涯スポーツ課		施設管理係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	3	スポーツ・レクリエーションの振興	1	スポーツ・レクリエーション施設の充実			
事業名	体育施設管理事業								
予算費目	款	10	教育費	項	6	保健体育費	目	3	体育施設費
	細目	1	体育施設費	細々目	1	体育施設維持管理費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
体育施設の維持管理を実施するとともに、平成21年度から指定管理者の導入を図る。		体育振興及びスポーツ交流を図るため体育施設の維持管理を図る。		体育施設の維持管理を実施するとともに、平成21年度から指定管理者の導入を図る。	
活動指標			成果指標		
体育施設利用件数			体育施設利用者数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
7,200(件)		7,114(件)		104.8	
目標値A(単位)		実績値B(単位)			
190,000(人)		199,167(人)		%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	委託料	49,764	47,798,550	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	需用費	1,627	1,625,400		県支出金 ()	8,308	7,129,500
	工事請負費	19,597	18,824,400		地方債 ()	14,000	12,954,900
	役務費	418	416,922		その他 ()		
	その他	372	409,276		一般財源 ()	49,470	48,990,148
合計		71,778	69,074,548	合計		71,778	69,074,548
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.3	1,884,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
施設及び体育器具の老朽化に伴い、修繕を要する箇所が増加。	民間のノウハウを利用し、安価に対応できる体制が必要。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	生涯スポーツ課	施設管理係	No	2
-----	---------	-------	----	---

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	3	スポーツ・レクリエーションの振興	1	スポーツ・レクリエーション施設の充実			
事業名	学校体育施設開放事業								
予算費目	款	10	教育費	項	6	保健体育費	目	1	保健体育総務費
	細目	1	体育振興費	細々目	1	体育振興費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
学校体育施設の有効活用を図るため、開放しているが、使用者が増加傾向にあり手狭な施設がある。	学校体育施設を開放することにより、社会体育の推進並びに生徒の安全な遊び場確保に努めている。	市内小・中学校の体育施設を学校教育に支障の無い範囲で児童、生徒その他一般市民に開放する。		
活動指標		成果指標		成果指標の到達度(B/A)
開放学校数		利用件数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	99 %
18(校)	18(校)	8,200(人)	8,119(人)	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳		0	0	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
合計		0	0	一般財源 ()			
				合計		0	0

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.1	628,000

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
サークルやスポーツ少年団等により、計画的に利用されている半面、新規利用者が使いにくい状況にある。	定期的に利用者間の調整を行う。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		生涯スポーツ課		施設管理係		No	3		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	3	スポーツ・レクリエーションの振興	1	スポーツ・レクリエーション施設の充実			
事業名	民間体育施設活用事業								
予算費目	款	10	教育費	項	6	保健体育費	目	1	保健体育総務費
	細目	1	体育振興費	細々目	1	体育振興費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
市の体育施設だけでは実施できない大規模な大会等の開催又は使用状況により実施できない大会等を開催可能とするため、民間体育施設を活用している。		多くの人がスポーツに親しむ機会を作りスポーツの楽しさと健康増進を図る。		市の管理する施設で不足する場合において、状況に応じ利用を依頼する。	
活動指標			成果指標		
民間体育施設開放箇所数			民間体育施設利用者数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
2(箇所)		2(箇所)		104.1	
				%	
目標値A(単位)		実績値B(単位)			
1,600(人)		1,665(人)			

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳		0	0	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()				
合計		0	0	合計		0	0
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.15	942,000				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
サッカーフェスティバル開催時に民間施設を使用しているのみで、他での利用は無く、民間業者とも友好的関係にあることから、特に課題は無い。	

事業の方向性(一次評価)	
B	事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		生涯スポーツ課		生涯スポーツ係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	3	スポーツ・レクリエーションの振興	2	スポーツ・レクリエーション活動の推進			
事業名	各種大会開催事業								
予算費目	款	10	教育費	項	6	保健体育費	目	1	保健体育総務費
	細目	1	体育振興費	細々目	1	体育振興費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順	
各種大会を開催しているが、大会に参加する割合が低いと思われる。誰もが気軽に参加できるように内容に工夫が必要である。	より多くの市民がスポーツをすることにより体育振興と健康増進を図る。	パパさん・ママさんソフトバレーボール大会、クローケー大会、市民体育大会、ふれあいスポーツ大会、新春登山、その他体育協会主催の大会等の開催	
活動指標		成果指標	
各種大会開催数		スポーツ大会出場旅費助成件数	
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)
300(回)	373(回)	団体10(件) 個人10(件)	団体3(件) 個人5(件)
			成果指標の到達度(B/A)
			40%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	旅費	74	49,700	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	需用費	149	86,730		県支出金 ()		
	委託料	1,698	1,698,000		地方債 ()		
	負担金	1,450	885,750		その他 ()		
合計	3,371	2,720,180	一般財源 ()			3,371	2,720,180
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)	合計			
		0.25	1,326,560	3,371 2,720,180			

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	B 効率性が認められる	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題	改善策
競技スポーツ大会は定着しているが、生涯スポーツ大会の全市民的な普及を図る必要がある。	レクリエーション大会を開催するなどにより、スポーツの底辺を拡大、スポーツ人口の増加を図り、そこから生まれるサークルの育成を図る。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	本事業における各種大会の実施は各競技団体にて行われているため、参加者数の把握は行っていない。このため、適切な成果指標が無いことから、全国大会出場助成件数を指標とした。この結果、平成22年度については助成件数が減少したが、全国大会出場者があることは、概ね目標を達成していると考えられる。
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		生涯スポーツ課		生涯スポーツ係		No	2		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	3	スポーツ・レクリエーションの振興	2	スポーツ・レクリエーション活動の推進			
事業名	スポーツふれあい事業								
予算費目	款	10	教育費	項	6	保健体育費	目	1	保健体育総務費
	細目	1	体育振興費	細々目	1	体育振興費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
スポーツ人口が低迷する中、スポーツにふれあう機会を作るための事業であるが、ニュースポーツは用具が高価である。また、総合型スポーツクラブは出合地区において平成22年3月までに設立の予定である。		スポーツをする機会を作りより多くの市民がスポーツとふれあうことにより体育振興と健康増進を図る。		スポーツ教室は毎年開催している。ニュースポーツは依頼により紹介している。総合型スポーツクラブは地域へ紹介し、設立を目指している。	
活動指標			成果指標		
各種大会開催数			各種大会参加者数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
300(回)		373(回)		124.2	
目標値A(単位)		実績値B(単位)			
45,000(人)		55,870(人)		%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	報償費	60	31,675	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
	委託料	1,324	1,246,800		県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		1,384	1,278,475	
合計		1,384	1,278,475	合計		1,384	1,278,475
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.35	1,467,680				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	B 有効性が認められる	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
1)スポーツ交流推進事業と業務内容が酷似しており、業務の統合が必要。 2)総合型スポーツクラブは、会費を払って自主運営する組織であるが、地域によってはお金を払ってスポーツをするという認識があるとはいえず、これを改善する必要がある。	1)事業を統合し、効果的な運営を行う。 2)施設使用料も低く抑えられている部分があり、まずは施設使用に関し受益者負担をお願いする。そうした中で、認識を変えていく。

事業の方向性(一次評価)	
B	事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		生涯スポーツ課		生涯スポーツ係		No	3		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	3	スポーツ・レクリエーションの振興	2	スポーツ・レクリエーション活動の推進			
事業名	団体・指導者等育成・支援事業								
予算費目	款	10	教育費	項	6	保健体育費	目	1	保健体育総務費
	細目	1	体育振興費	細々目	1	体育振興費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
スポーツを普及、啓発するため団体・指導者等を育成・支援することが必要であるが、さらなる強化が必要である。また、体育協会においては加盟競技団体も含め自立することが必要である。		団体・指導者等を育成・支援することによりスポーツのできる環境を整備し、体育振興に努める。		体育協会、スポーツ少年団の事務局をしているが、体育協会は事務及び運営を適宜移行している。体育指導員は、各種大会の運営の補助及びニュースポーツの普及に努める。優秀団体、優秀選手は、表彰することによりさらなる飛躍を目指す。	
活動指標			成果指標		
研修会開催数			研修会参加者数		
目標値(単位)		実績値(単位)		成果指標の到達度(B/A)	
11(回)		11(回)		58.4	
				%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	報酬	288	227,000	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
	需用費	22	21,370		県支出金 ()		
	負担金	1,927	1,815,424		地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		2,237	2,063,794	
合計		2,237	2,063,794	合計		2,237	2,063,794
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0.8	2,833,040				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	B 有効性が認められる	B 効率性が認められる	C あまり目標を達成していない

4 ACTION

課題		改善策	
指導者研修には、受講料の必要なものが多く、また首都圏での開催など交通・宿泊費を要するものもあり、なかなか全額自費にて参加することができない。		研修受講に際し、一部を負担する制度などを検討する必要がある。	
事業の方向性(一次評価)			
B	事業の実施方法やコスト等について改善する検討が必要		
その他			

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		企画課		企画係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	3	スポーツ・レクリエーションの振興	3	スポーツによるまちづくりの推進			
事業名	山口県立おのだサッカー交流公園協会支援事業								
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	9	企画費
	細目	1	企画費	細々目	1	企画費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	臨時	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)		事業の内容(対象・目的・意図)		事業実施の手段・手順	
平成18年度の山口県立おのだサッカー交流公園の完成及び供用開始に伴い、県民が安全かつ円滑に利用できるよう適正な管理運営を行うため、管理運営費に対する負担金を支出する必要が生じた。管理運営費については、山口県及び広域圏市町との連携協議の中で、山口県立おのだサッカー交流公園が設置される山陽小野田市が負担することに決まっている。		スポーツとのふれあいの場を提供し、スポーツ活動を通じて県民の交流及び連携を促進する。施設の適正な管理運営を行うことにより、利用者数の増大を図る。		山口県立おのだサッカー交流公園の指定管理者として山口県から指定を受けている県立おのだサッカー交流公園運営協会の、グラウンドなどの維持管理や使用受付事務などの管理運営費に対する負担金を支出し、管理運営が適切に行われているかを監査報告等により確認する。	
活動指標			成果指標		
負担金の支出			①利用件数 ②利用者数		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	①113 ②153	
1(回)	1(回)	① 660(件) ②35,400(人)	① 744(件) ②54,174(人)	%	

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	負担金	25,000	24,300,000	財(源割内訳)	国庫支出金	()	
					県支出金	()	
					地方債	()	
					その他	()	
			一般財源		(100)	25,000	24,300,000
合計		25,000	24,300,000	合計		25,000	24,300,000
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		0	0				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
山口県立おのだサッカー交流公園の管理運営については、グラウンドなどの維持管理や使用受付事務などが適切に行われている。よって、負担金の支出は適正であり、問題はない。	特になし。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	<ul style="list-style-type: none"> 平成21年度に山口県事業において、多目的グラウンドに人工芝が敷設された。 平成23年度以降も、負担金の支出を継続する。
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名	国体室	No	1
-----	-----	----	---

施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	3	スポーツ・レクリエーションの振興	3	スポーツによるまちづくりの推進			
事業名	「おいでませ！山口国体・山口大会」開催事業								
予算費目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	22	国民体育大会費
	細目	1	国民体育大会費	細々目	1	国民体育大会費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()			予算種別	継続	経常		

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
平成23年10月開催の第66回国民体育大会「おいでませ！山口大会」では少年男子サッカー・成年男子軟式野球・少年男子ゴルフの各競技が、また第11回全国障害者スポーツ大会「おいでませ！山口大会」では知的障害者サッカー競技が開催される。それに先駆け、本年10月に国体のリハーサル大会として、第46回全国社会人サッカー選手権大会が開催され、当市も会場となる。	「おいでませ！山口国体・山口大会」に出場する選手・監督が実力を十分に発揮できる環境づくりをするため、リハーサル大会運営を通して改善策等を再検討し本大会で実践する。また、レベルの高い競技スポーツを観戦することやボランティアを含め大会運営に参加してもらうことで、市民のスポーツへの関心を高めてスポーツ振興に繋げる。	大会運営ボランティアを含めた実施本部を組織し、より良い競技環境と円滑な大会運営を実施する。本年度は、リハーサル大会の実施本部を組織して大会運営を行い、終了後運営について反省会を実施して業務内容を再検討し、本大会で万全の運営を期す。大会運営ボランティアを引き続き募集すること及び小中学校に幟作成や競技観戦を依頼して機運を高める。		
活動指標		成果指標		
リハーサル大会実施本部員数		リハーサル大会観覧者数		
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	成果指標の到達度(B/A)
500(人)	483(人)	1,500(人)	1,286(人)	
				85.7%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	負担金、補助及び交付金	20,051	20,050,500	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
	積立金	10,010	10,010,000		県支出金 (20%)	6,396	6,287,000
	使用料及び賃借料	353	352,800		地方債 ()		
	需用費	208	139,140		その他 (5%)	1,445	1,446,488
	役務費	74	73,690		一般財源 (75%)	22,855	22,892,642
合計		30,696	30,626,130	合計		30,696	30,626,130
人件費概算		人工数(人役)	人件費(円)				
		8.75	46,429,600				

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	A 有効性が高い	A 効率性が高い	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
リハーサル大会運営の反省点 ・実施本部の体制は細分化しすぎて、大会運営が円滑に進まなかった。 ・係員やボランティアの業務量に偏りがある。 ・売店等のブースの配置が、選手や観客の導線にあっていない。 ・花いっぱい運動の参加団体が少ない。 ・試合の観戦者が少ない。	国体3競技に柔軟に対応するため、実施本部体制の統廃合によるスリム化を行い、併せてボランティアの適切な配置を再検討する。会場設営については、選手や観客の導線を考慮した各ブースの配置とする。 花いっぱい運動では企業・学校・各種団体に一層の協力要請を行う。集客については、県外からのチーム応援は多くは望めないため、市民の観覧の呼び掛け及び学校応援を実施する方向で検討する。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		生涯スポーツ課		生涯スポーツ係		No	1		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	3	スポーツ・レクリエーションの振興	3	スポーツによるまちづくりの推進			
事業名	高校サッカーフェスティバル開催事業								
予算費目	款	10	教育費	項	6	保健体育費	目	1	保健体育総務費
	細目	1	体育振興費	細々目	1	体育振興費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
昭和57年3月に第1回大会が開催され、現在では市内外から約50校、1500人の参加により開催しているが、4日間大会運営において近隣高等学校サッカー部顧問の協力が不可欠である。	サッカーを通じて交流を図る。4日間の宿泊費・飲食費等の経済効果は非常に大きい。	市内11会場(民間施設を含む)で4日間開催。		
活動指標		成果指標		
参加校数		参加者数		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	
50(校)	51(校)	1,000(人)	1,768(人)	176.8%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	需用費	1,066	981,960	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
	負担金	1,150	878,773		県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		2,216	1,860,733	
合計		2,216	1,860,733	合計		2,216	1,860,733

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.65	2,621,360

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
フェスティバルであるが、お祭りの要素が少なく、観客が少ない。	関連してイベントを実施。集客を図る。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		生涯スポーツ課		生涯スポーツ係		No	2		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	3	スポーツ・レクリエーションの振興	3	スポーツによるまちづくりの推進			
事業名	スポーツ教室開催事業								
予算費目	款	10	教育費	項	6	保健体育費	目	1	保健体育総務費
	細目	1	体育振興費	細々目	1	体育振興費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
県立おのだサッカー交流公園の完成によりここを活用したスポーツ教室を開催しているが、サッカー教室のみであるためその他の競技開催の検討が必要である。	有名選手等を身近に感じスポーツに興味を持ってもらう。	競技団体により有名選手又は有名指導者を招いてのスポーツ教室を実施。		
活動指標		成果指標		
開催教室数		参加者数		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	
6(講座)	6(講座)	450(人)	436(人)	96.8%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	報償費	570	348,000	財(源割内訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
			一般財源 ()		570	348,000	
合計		570	348,000	合計		570	348,000

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.4	1,538,240

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	B 必要性がある	B 有効性が認められる	B 効率性が認められる	B 概ね目標を達成している

4 ACTION

課題	改善策
<ul style="list-style-type: none"> 小学生水泳教室への参加応募が年々増加し、市民プールでの開催が困難。また、水泳教室の指導を水泳協会に依頼しているが、指導者の確保が困難になりつつある。 アーチェリー教室や弓道教室への参加者がほとんどいない。 	<ul style="list-style-type: none"> 学校のプールを利用した水泳教室を開催する。なお、指導者の不足に関しては協会へ引き続き依頼していく。 太極拳教室など新たな教室の開催を検討する。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--

平成22年度 事務事業評価シート

部署名		生涯スポーツ課		生涯スポーツ係		No	3		
施策体系	大項目(政策)		中項目(施策)		小項目(基本事業)				
	16	多彩な芸術文化とスポーツの振興	3	スポーツ・レクリエーションの振興	3	スポーツによるまちづくりの推進			
事業名	県立おのだサッカー交流公園運営協会事務								
予算費目	款	10	教育費	項	6	保健体育費	目	1	保健体育総務費
	細目	1	体育振興費	細々目	1	体育振興費	会計種別	一般会計	
事務区分(根拠法令)		自治事務 ()				予算種別	継続	経常	

1 PLAN

事業の背景(事業が始まった経緯、現況)	事業の内容(対象・目的・意図)	事業実施の手段・手順		
平成18年7月に県立おのだサッカー交流公園が完成したことに伴い、本市と宇部市及び美祢市の広域で組織する県立おのだサッカー交流公園運営協会が指定管理者となったことから、当運営協会の事務及び交流公園の管理を行う。	宇部・山陽小野田広域圏住民を対象とし、サッカー競技を中心に子供から高齢者まで楽しく利用できる施設をつくる。	サッカー及びグランドゴルフの市内大会から中国地区レベルの大会の開催及び通常時における練習会場としての施設貸し出し		
活動指標		成果指標		
交流公園利用件数		交流公園利用者数		成果指標の到達度(B/A)
目標値(単位)	実績値(単位)	目標値A(単位)	実績値B(単位)	
800(件)	916(件)	45,000(人)	56,303(人)	125.1%

2 DO

歳出		予算現額(千円)	決算額(円)	歳入		予算現額(千円)	決算額(円)
支出内訳	負担金保補助及び交付金	18,000	17,410	財(源割内合訳)	国庫支出金 ()		
					県支出金 ()		
					地方債 ()		
					その他 ()		
合計		18,000	17,410	一般財源 ()		18,000	17,410
				合計		18,000	17,410

人件費概算	人工数(人役)	人件費(円)
	0.9	2,243,840

3 CHECK

事務事業の評価	必要性	有効性	効率性	成果指標の達成度
	A 必要性が高い	A 有効性が高い	A 効率性が高い	A 目標どおり達成している

4 ACTION

課題	改善策
ほぼ毎日利用者があるが、夏休み等を除く日中の利用がほとんど無いことから、日中の利用拡大を図る必要がある。	グランドゴルフでの利用以外に活用方法を検討する。

事業の方向性(一次評価)	
A	計画どおり事業を進めることが適当

その他	
-----	--